

公表用

助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	情報バリアフリー役務提供事業推進助成金
助成対象事業名	「視聴覚障害者向けエンターテインメントの情報保障サービス」
助成対象事業者名	特定非営利活動法人 メディア・アクセス・サポートセンター
助成金の額	6,272千円

【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	映像視聴や芸術鑑賞において制作されたバリアフリー字幕・音声ガイドなどのデータを「管理・運用し、「セカンドスクリーン型情報保障」を進めながら、メディア業界全体への「提供を行い、視聴覚障害者のバリアフリー視聴環境を整備します。」
②	助成対象事業の目標	映画館、DVD・Blu-ray や舞台芸術で、スマートフォンアプリや字幕メガネを使って、インターネット上のサーバーからバリアフリーデータを提供することで、視聴覚障害者の芸術へのアクセス保障、視聴環境改善を行う。そしてアーカイブされたバリアフリーデータの利用促進を行う。

【令和7年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	・聴覚障害者用字幕、手話配信(字幕メガネ、DVD 等) ・視覚障害者用音声ガイド配信(スマートフォン等) ・字幕メガネ貸出事業(映画館・個人・法人貸出・学校寄贈) ・バリアフリーデータ制作、アーカイブとその利用 ・舞台芸術向け台本配信システムの提供 ・YouTube 動画、リアルタイム、アーカイブ字幕対応
④	助成対象事業の成果	スマートフォンアプリによる視覚障害者用音声ガイド、聴覚障害者用字幕共に85作品。字幕メガネ貸出の映画館は84館、個人75名、法人は12箇所。DVD 用字幕配信は計330ディスク実施。舞台芸術向け台本配信、リアルタイム22公演にシステムを提供した。YouTube 動画に対する、リアルタイム字幕対応、アーカイブは59回。興行収入 10 億円以上の邦画は、87%の対応となった。
⑤	補足説明事項	バリアフリーデータアーカイブ情報センターの運用については、権利者の他、原作者、脚本家、監督、JASRAC 各協会にも説明済みで、皆さんに賛同いただいております、順次、配信会社、放送局等に利用を促していきます。